

谷賢一氏のハラスメント案件に伴う氏作品の公開終了について

サウンドアートプロジェクト「GeoPossession 声のトポス」に作品提供をしている谷賢一氏が、このたびハラスメント案件で東京地方裁判所に提訴された事を受け、当プロジェクトでは谷氏の作品の公開を終了する事を決定いたしました。

ハラスメント被害者にとって、被害を告白したのち、関係者が沈黙をする事、加害者に配慮を示す行為は、深く傷ついた心を一層鋭利に傷つけると我々は考えます。

それ以前に、ハラスメントや性被害により、深く心身が傷ついた被害者が縮こまって日々を送らざるを得ない中、加害者が変わらず活躍してゆき、その様子や名前を目にするというのは、世間の無知が及ぼす重大な二次暴力に違いありません。大内彩加さんの note を拝読させていただいたところ、2018年6月から2021年3月まで氏から性加害を受けていたとの事、今プロジェクトが氏への依頼を行ったのは2021年8月27日、プレスリリースとして情報をオープンにしたのが2021年12月2日ですから、まさに大内さんが傷つき、誰にも言えずに耐えていらっしやった期間であった事をこのたび知り、愕然としております。

この無知なる加担に対し、心から陳謝させていただくと共に、氏の作品の公開終了という形を取らせていただきます。また今後、勇気ある告発をされた大内さんや、被害にあわれたその他の方々のお心には最大限、寄り添わせていただきたく考えております。

2022年12月19日

「GeoPossession 声のトポス」キュレーター 永方佑樹